

統計から見た

秋田県社会経済上の位置

— 社会統計指標453項目 —

秋田県が社会生活・経済上どのような特徴を持っているかを把握するために、今年も「統計でみる都道府県のすがた」（総務省統計局2013年版）から本県の統計指標を抽出し、本誌にまとめました。

統計指標の項目は、社会生活全般の実態を示す最新時点の統計データを人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤など各分野

ごと12種別に分類して453項目を列挙しており、各項目（指標）ごとに全国指標を参考として掲載し、全国における本県の位置を示す順位を付けています。

なお、順位については、本県の地域別特性の把握をより容易にするための目安として付しているものであり、相対的に見るべきものと思います。

○前回と比較した分野別特徴

① 人口・世帯は、老年人口割合など40項目中7項目が全国一のマイナス指標と低調な項目が多く、年少人口割合と生産年齢人口割合が全国最低水準であるなど、総じて人口減少や少子高齢化の加速を示す指標が多く見られます。

② 自然環境は、県土の広さなどに恵まれています。日照時間が全国最短で、降水や降雪日数も多く、平均気温が低いなど、気象条件に厳しさが見られます。

③ 経済基盤は、対前年で県内総生産額や県民総所得の増加率がランクアップするなど、他地域より落ち込みは少ないものの、1人当たり県民所得が依然低水準にあるほか、従業者1人当たり製造品出荷額等が依然最低レベルであるなど、経済基盤の脆弱さを示す指標が多く見られ

ます。反面、物価面は総じてみれば低く、他地域に比べ恵まれていると言えます。

④ 行政基盤は、1人当たりの課税所得が全国最低で、住民税、固定資産税も全国最低水準にあり、県の財政力指数も最低レベルであるなど、財政面の厳しさを示す指標が引き続き多く見られます。

⑤ 教育は、教員1人当たりの児童・生徒数が全国最低水準で少ないなど、総じてみれば教育環境に恵まれており、不登校による長期欠席者比率は中学校が全国最低で、小学校も全国平均以下です。

⑥ 労働は、有効求人倍率、パートタイムの給与や高卒者の初任給が最低水準で、高卒者の県外就職者の割合が高いなど、労働環境の厳しさが依然色濃く窺えます。

⑦ 文化・スポーツは、施設面は量的に充実していると言えますが、旅行やスポーツなどの行動面は総じて低調です。

- ⑧ 居住は、持家や一戸建比率が全国一高く、最低居住面積水準以上世帯割合がトップクラスであるなど、居住環境には引き続き恵まれています。生活関連施設などの整備には依然遅れが見られます。
- ⑨ 健康・医療は、中学生の体格は全国トップながら、医師1人当たりの外来患者数や人口当たりの生活習慣病と癌の死亡者数が全国一多く、同通院者率も高いなど、低調な指標が多く見受けられます。
- ⑩ 福祉・社会保障は、一部に芳しくない指標があるものの、人口当たりの福祉

- 施設数や福祉活動従事者数など福祉関連指標には良好な項目が多いなど、総じてみれば比較的恵まれた環境にあります。
- ⑪ 安全は、防犯関連で人口当たりの認知件数が全国一低く、検挙率が全国トップクラスであるほか、交通事故や火災関連の指標にも良い項目が見られるなど、安全面は総じて良好と言えます。
- ⑫ 家計は、世帯収入はランクアップしたものの依然全国平均以下であり、金融など資産関連には下位項目が多いなど、総じて家計面には厳しさが窺えます。

本県の全国一のプラスおよびマイナス項目は次のとおりです。

No.	全国一プラス(13項目) 項 目 名	単位	秋 田 県			全 国 指 標	No.	全国一マイナス(24項目) 項 目 名	単位	秋 田 県			全 国 指 標
			指 標	順位	前回					指 標	順位	前回	
165	不登校による中学校長期欠席生徒比率(生徒千人当たり)(注1)	—	20.94	47	47	27.33	11	老年人口割合〔65歳以上〕(対総人口)	%	29.7	1	1	23.3
189	県内就業者比率(対就業者)	%	98.6	1	4	86.9	14	老年人口指数(老年人口/生産年齢人口×100)	—	50.3	1	1	36.6
236	持ち家比率(対居住世帯あり住宅数)	%	78.4	1	1	61.1	17	自然増加率((出生数-死亡数)/総人口)	%	(-)0.70	47	47	(-)0.10
241	一戸建住宅比率(対居住世帯あり住宅数)	%	82.4	1	1	55.3	18	粗出生率(人口千人当たり)	—	6.16	47	47	8.37
242	共同住宅比率(対居住世帯あり住宅数)	%	15.4	47	47	41.7	20	粗死亡率(人口千人当たり)	—	13.16	1	1	9.35
277	理容・美容所数(人口10万人当たり)	所	541.2	1	1	276.5	35	65歳以上の世帯員のいる世帯割合(対一般世帯数)	%	53.11	1	1	37.30
315	平均身長(中学2年・男)	cm	161.8	1	1	159.6	39	婚姻率(人口千人当たり)	—	3.94	47	47	5.47
316	平均身長(中学2年・女)	cm	156.3	1	2	155.0	50	日照時間(年間)	* 時間	1,431	47	45	—
317	平均体重(中学2年・男)	kg	51.6	1	3	49.0	106	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	千円	2,565.2	47	46	3,208.6
318	平均体重(中学2年・女)	kg	49.2	1	2	47.1	176	最終学歴が短大・高専卒の者の割合(対卒業生総数)	%	9.5	47	47	12.9
413	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	件	4.98	47	47	12.38	177	最終学歴が大学・大学院卒の者の割合(対卒業生総数)	%	9.0	47	46	17.3
414	窃盗犯認知件数(人口千人当たり)	件	3.67	47	47	9.48	200	身体障害者就職者比率(対就職件数千件当たり)	—	10.70	47	47	17.95
415	刑法犯検挙率(認知件数1件当たり)	%	55.4	1	3	31.4	209	就業異動率(転職者数+離職者数+新規就業者数)/15歳以上人口)	%	7.6	47	47	10.0
	(注1) 年度間30日以上						213	女性パートタイムの給与(1時間当たり)	円	798	47	46	988
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(注) 指標の年次は最新時のものを掲載していますが、前回以降公表されていないものは、前回と同様の指標を掲載しています。また、表中の□は一般的に順位が低いのが良いとされているマイナス指標を示しています。</p> </div>					232	海外旅行の年間行動者率(10歳以上)	%	2.3	47	47	8.9	
							303	生活習慣病による死亡者数(人口10万人当たり)	人	767.8	1	1	548.4
							304	悪性新生物による死亡者数(人口10万人当たり)	人	378.7	1	1	282.0
							311	周産期死亡率(死産数(妊娠22週以後)+早期新生児死亡数)/出生数(注2)	—	6.6	1	12	4.2
							323	一般病院数(可住地面積100km ² 当たり)	施設	1.9	47	47	6.2
							328	介護療養型医療施設数(65歳以上人口10万人当たり)	所	1.6	47	47	6.1
							334	一般病院外来患者数(常勤医師1人1日当たり)	人	11.5	1	1	9.0
							353	身体障害者手帳交付数(人口千人当たり)	人	66.1	1	1	39.9
							385	全国健康保険協会管掌健康保険医療費(被扶養者1人当たり)	円	161,085	1	—	144,285
							418	不慮の事故による死亡者数(人口10万人当たり)	人	52.7	1	1	31.8

【詳細についてのお問い合わせ先】
 北都銀行 暮らしと経営の相談所(調査担当)
 電話 018-833-4211(内線3303)
 FAX 018-834-5508

(注2) 出生数千当たり